

## 令和 4 年度 S I P 第 2 期の意見交換会の概要・準備について

### 1. 意見交換会の趣旨

各課題の研究成果や社会実装に向けた活動について、評価委員に対しシンポジウムや拠点視察などを通じて分かりやすく事例や取組を紹介することで課題に対する理解を深める機会を提供するとともに、評価委員との非公式での意見交換会を実施することによって様々な視点からの社会実装に向けた助言やサポートを得ることを目的とする。

### 2. 想定される主な意見交換の内容（案）

- ・令和 3 年度の課題評価 WG の指摘事項への対応について
- ・S I P 終了時の目標と進捗、残された課題と SIP 期間中の対応について
- ・S I P 終了後を含む社会実装の実現までのロードマップについて
- ・S I P 終了後の社会実装に向けた体制について

### 3. 実施方法（資料 3 参照）

各課題の事情等に応じて、評価委員への情報提供の場として、シンポジウムなどの活用又は拠点視察の開催を行うとともに、情報提供した内容を踏まえつつ、非公式での意見交換会を実施する。

参加者：須藤プログラム統括、評価委員（最大 14 名）、CSTI 議員、担当審議官、SIP 総括

対応者：PD、（2. 想定される主な意見交換の内容）に回答可能な方など

### 各方式で開催する場合の留意事項

#### ① シンポジウム

各課題にて企画・運営されるシンポジウムを参加者に案内致します。

#### ② 意見交換会（同日開催）

シンポジウム後に参加者との質疑応答を中心に 1～1.5 時間程度の意見交換会を実施致します。

#### ③ オンライン意見交換会

質疑応答を中心に 1.5～2 時間程度の意見交換会をオンライン会議にて実施致します。

（2. 想定される主な意見交換の内容）を踏まえて、意見交換会を実施する想定です。

④ **その他（ピアレビュー、事業マネジメント会議）**

各課題の既存の取り組みを参加者に案内致します。

参加者と課題関係者との質疑応答の時間を確保頂くように配慮をお願い致します。

⑤ **拠点視察**

令和3年度と同様の形式での実施を想定していますが、柔軟に対応できればと思います。

＜昨年度の実施内容（概要）＞

実施時間： 13:00～17:00（視察全体の時間は4時間程度）

形式：現地参加とWeb会議参加のハイブリット形式

Web会議システム： Teams 会議（内閣府 SIP 総括設定）

設備等：視察先の設備（ネット環境、モニター、カメラ、スピーカー等）

＜視察までのスケジュール＞

7週間前：視察プログラム案提出

4週間前：委員への視察プログラム送付、出欠再確認

2週間前：課題・SIP 総括でのロジ打合せ

約10日前：当日説明資料（暫定版）、研究開発計画（非公開版）の提出

約7日前：当日説明資料（セット版）の提出、参加者へ送付

当日：視察実施

＜ロジ関係＞

・速記による記録（Web会議システム経由で参加）はSIP総括にて手配。

・最寄り駅から施設までのアクセスは路線バス等の公共交通を使用。

（便宜供与にあたらぬ範囲でマイクロバス等での送迎は可能です。）

・現地参加者への説明資料の印刷配布は課題側で実施。

＜緊急事態宣言等にかかる拠点視察時の対応＞

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、東京都並びに拠点視察先の地域に緊急事態宣言が発令されている場合、オンライン説明会に変更させていただきます。

・蔓延防止措置期間中や台風・地震等の自然災害が発生した場合、社会情勢や視察受入先の状況を鑑みつつ、内閣府にて判断致します。